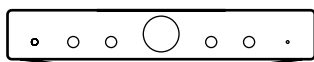


**AXA25**  
統合アンプ



# 目次

リアパネル端子	3
フロントパネル操作スイッチ	3
接続	4
技術仕様	5
トラブルシューティング	5

このガイドは、本製品を可能な限り速やかに、かつ簡単に設置し使用できるようにすることを目的に作成されました。本書に掲載の情報は印刷の時点での正確性に万全を期していますが、継続的な向上がCambridge Audioのポリシーということもあり、設計や仕様は予告なく変更されることがあります。

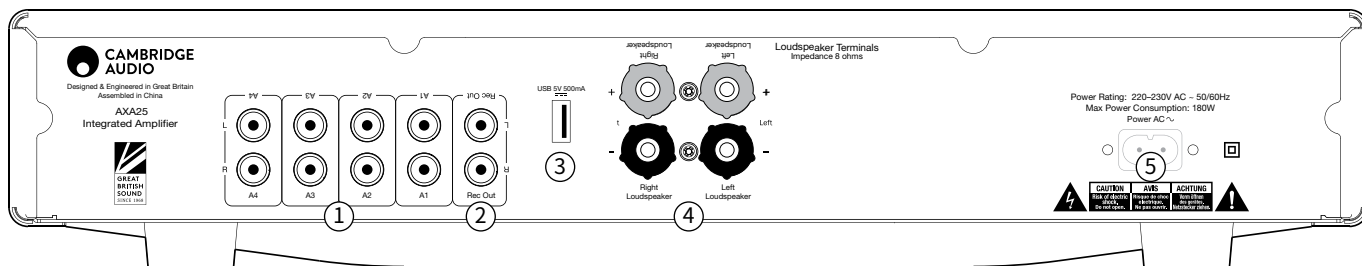
本書には、著作権により保護された占有情報が含まれます。無断複写・転載を禁じます。当該の製造者の書面による事前の許可なくして、機械や電子、またはその他のいかなる方法によっても本書の一部または全部を複製することを禁じます。商標および登録商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

© COPYRIGHT CAMBRIDGE AUDIO LTD 2019

以下で製品をご登録ください：  
[WWW.CAMBRIDGEAUDIO.COM/REGISTER](http://WWW.CAMBRIDGEAUDIO.COM/REGISTER)

新製品、ソフトウェアアップデート、特別キャンペーンなどについてのニュースをお届けします。

# リアパネル端子



## ① オーディオ入力 (A1~A4)

CDプレイヤーのオーディオやChromecast Audioといったストリーミングデバイス (RCAフォンから受け側へのケーブルが必要) などのラインレベルの音源装置に適した入力です。

## ② REC OUT (録音出力)

CDレコーダーの録音入力やテーブデッキなどの互換性のある録音機器に接続します。

メインユニットの音量やバランス、トーンコントロールに左右されない、一貫してハイレベルな出力を提供します。こうした理由からも、AXA25はプリアンプのみとして、またはサブウーファとともに使用することはできません。

## ③ USB電源5V 500MA

このUSB接続は、ストリーミングデバイスやBluetoothアダプターといった機器の電源用です。

注:入力端子ではないため、ユニットで直接オーディオを再生することはできません。

## ④ ラウドスピーカー端子

左チャンネルのラウドスピーカーから左のプラスとマイナスの端子に、そして右チャンネルのラウドスピーカーを右のプラスとマイナスの端子にそれぞれ接続します。

左右どちらについても、赤い端子がプラス出力、黒い端子はマイナス出力です。

ユニットに損傷を与えるおそれがありますので、余っているケーブルがスピーカーの出力端子に誤って接続されないように、ご注意ください。

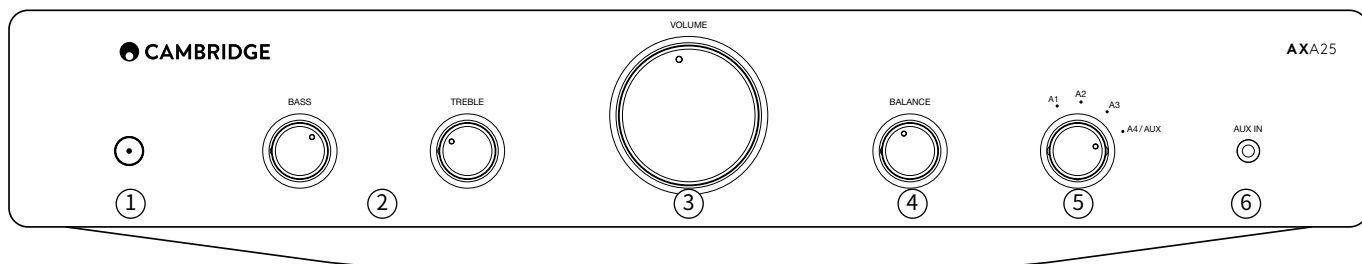
通電が遮断されないようにラウドスピーカーの端子がしっかりと締まっていることを確認してください。端子への接続があまいと、音質に影響する可能性があります。

## ⑤ AC電源ソケット

すべての接続が終わったら、AC電源ケーブルを適切なメインコンセントに差し込み、ユニットの電源をオンにします。

このユニットに付属の電源コードのみをお使いください。

# フロントパネル操作スイッチ



## ① 電源ボタン

スタンバイモード (暗いLEDで示されます) とオン (明るいLEDで示されます) を切り替えます。スタンバイモードは省エネモードで、電力消費は0.5W未満です。

当製品はオートスタンバイ (APD) が既定でオンの状態になっています。20分間操作しないと、ユニットは自動的にスタンバイへと切り替わります。

オートスタンバイ (APD: Auto Power Down)

APDのオン/ オフは、設定で変更可能です。設定を変更するには、LEDが点滅するまで電源ボタンを押し続けます。

以下はAPDのオン/ オフの見分け方です。

電源スイッチがスタンバイモード (暗いLED) で5回点滅 - APDオフ

電源スイッチがスタンバイモード (暗いLED) で10回点滅 - APDオン

注:APDの設定を変更する前に、ユニットの電源が入っていることを確認してください。

## ② バス&トレブル

これらのコントロールにより、サウンドの高音・低音のバランスが微調整できます。センターに合わせて、効果はゼロになります。お使いのラウドスピーカーを通じたサウンドのみが調整されますので、Rec Out接続を通じて送信されるシグナルには影響しません。レコーディングの音質が低いなど、音質に影響する要因がある場合は、トーンをコントロールして、それを補う必要が発生することもあります。

## ③ 音量調節

ユニットのオーディオの出力レベルを上げたり下げたりするのに使います。

注:音量をコントロールしても、Rec Outの出力レベルは一定であり、影響を受けません。

## ④ バランス

このコントローラーにより、左右のチャンネルの相対出力が調整可能です。センター位置にすると左右チャンネルの出力は均一になります。お使いのラウドスピーカーを通じたサウンドのみが調整され、Rec Out接続を通じて送信されるシグナルには影響しません。

## ⑤ 音源選択スイッチ (A1、A2、A3、A4/AUX)

聞きたい音源を選択するためのものです。選択されたシグナルは、録音可能なようにRec Out/ソケットにもフィードされます。録音中は、入力を変更しないでください。

## ⑥ AUX IN (外部入力)

この音源入力により、MP3プレイヤーといったポータブルオーディオ機器やストリーミングデバイスを3.5mmのステレオAUXケーブルを使ってユニットの正面に直接接続することができます。

接続すると、この入力が自動的に選択されます。ステレオジャックへの接続が完了したら、A4以外の入力も選択できます。ステレオジャックに接続されている間は、ユニット正面のA4/AUXオプションはこの入力を選択します。

注:

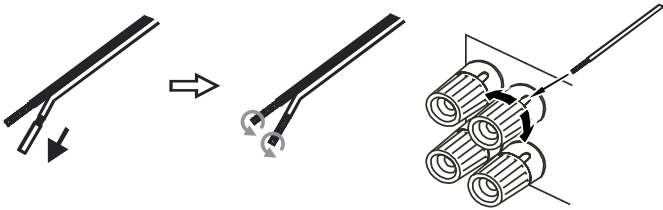
- 音源をフロントパネルのAux入力に接続すると、A4入力がオーバーライドされます。フロントパネルからジャックを取り外すと、自動的にA4入力が再びオンになります。

# 接続

## ラウドスピーカー

スピーカーのインピーダンスを確認してください。インピーダンスが8Ωのタイプであれば使用できます。

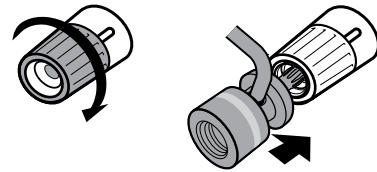
赤いスピーカー端子はプラス(+)で、黒いスピーカー端子はマイナス(-)です。スピーカーのコネクターそれぞれについて、極性が正しいことを確認してください。極性が間違っていると、低音の効いてない弱くて歪んだサウンドになることがあります。



## むき出しのスピーカーケーブルで接続

スピーカーの接続用ケーブルから外側の絶縁体をはがし、およそ10mm、ワイヤ(銅線)をむき出しの状態にします。ショートの原因となるおそれがありますので、10mm以上カットしないでください。ワイヤをしっかりとよってまとめ、はみ出ているワイヤがないようにします。スピーカー端子のネジをゆるめ、スピーカーケーブルを挿入し、端子を締めてケーブルをしっかりと接続します。

注: すべての接続において標準的なラウドスピーカーケーブルが使われています。



## バナナプラグの利用

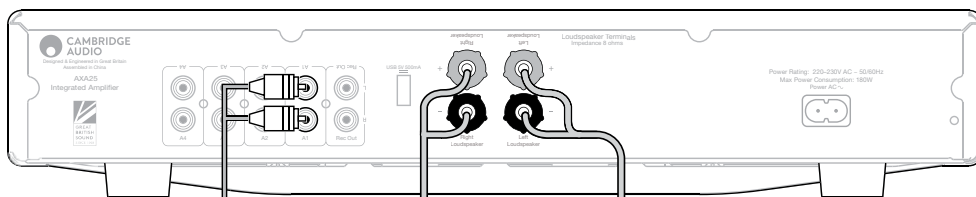
このユニットを安全に接続し、ノイズや干渉の原因となりうるワイヤのほつれを防止するためにも、バナナプラグの使用をおすすめします。

ケーブルの外側の絶縁体をむいたら、上記のとおりワイヤをしっかりとよってから、バナナプラグに接続します。スピーカー端子からダストキャップを外し、力を入れずにプラグを一番奥まで差し込みます。

## 一般的な接続方法

以下の図は、アンプとCDプレイヤー、そしてラウドスピーカー対の基本的な接続方法を示しています。

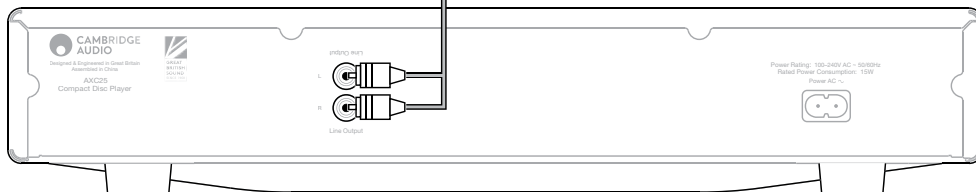
AXA25



右スピーカー

左スピーカー

AXC CDプレイヤー



## 技術仕様

出力	25W (8Ω)
THD (unweighted)	<0.015% @ 1kHz、定格出力の80% <0.15% 20Hz~20kHz、定格出力の80% <0.1% 20Hz~20kHz @ 10W
周波数特性 (-3dB)	(-3dB) 10Hz~30kHz
S/N比 (1W)	>82dB (unweighted)
入力インピーダンス	32kΩ
パワーアンプ ダンピングファクター	> 100
最大電力消費	180W
バス/ トレブル コントローラー	シェルピング、アルティメットブースト/カット
スタンバイ時消費電力	<0.5W
入力:	4 x RCA, 1 x 3.5mm Aux入力 (フロントパネル)
出力:	スピーカー、Rec Out、USB 5V電源
外形寸法 (高さ x 横幅 x 奥行き):	83 x 430 x 340mm
重量:	5.1kg

## トラブルシューティング

### 電源が入らない

AC電源コードが正しく接続されているか、確認してください。

電源プラグが壁のコンセントにしっかりと差し込まれており、電源スイッチが入っていることを確認してください。電源プラグまたはアダプターのヒューズをチェックしてください。

ユニットの正面にある電源ボタンを確認してください。

### 音が出ない

選択した入力正しいことを確認してください。

スピーカーが正しく接続されていることを確認してください。

### サウンドが歪む

スピーカーの接続を確認してください。

### スピーカーからハムノイズが聞こえる

すべてのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。

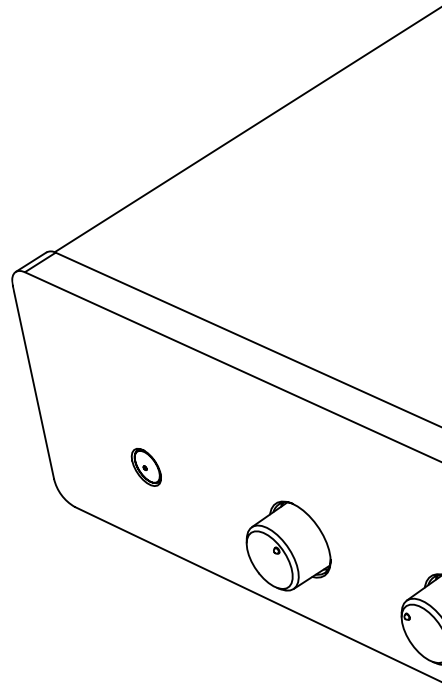
### バックグラウンドノイズや干渉がある

干渉の原因となりそうな電子機器からユニットを遠ざけてください。

すべてのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。

お使いの製品で何らかの問題が発生した場合は、弊社ウェブサイトのヘルプページ (<https://techsupport.cambridgeaudio.com>) をご覧ください。

保証期間内、期間外を問わず、製品サービスに関するお問い合わせは、製品をお買い求めいただいた販売店にご連絡ください。



[WWW.CAMBRIDGEAUDIO.COM](http://WWW.CAMBRIDGEAUDIO.COM)

Gallery Court, Hankey Place  
London

SE1 4BB  
United Kingdom

Cambridge Audio is a brand of Audio Partnership  
Plc. イングランドにて登記 (No. 2953313)

AP36593/1